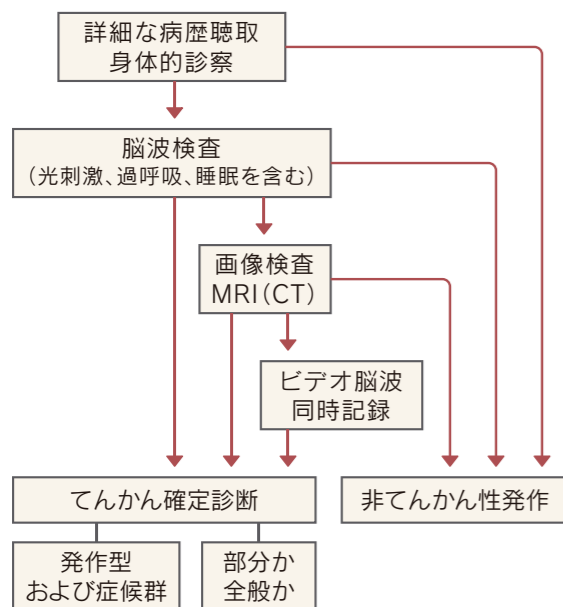


特集 見逃していませんか？

高齢者のてんかん



〈図3. てんかんの診断手順〉



（高齢者てんかんの診断）
 診断は主に問診で行います。記憶障害や意識障害があるため、本人に確認することはできません。家族や施設スタッフなど発作を目撃した方が診察に同席して、その時の様子を詳しく伝えて頂けると、てんかんの診断に極めて重要な情報となります。検査としては、画像検査として、頭部CTもしくはMRIを行い、てんかんの原因となるような異常がないかを確認します。てんかんに特有の検査としては、脳波検査というものがありません。頭皮にたくさん電極をつけて、脳の微細な電気信号をとらえます。この検査で異常な電気活動がみとめられれば、てんかんと診断することができます。しかし、高齢者のてんかんで脳波で異常が認められるのは30〜70%であり、異常がなくてもてんかんではないとは言えません。

私が、ご説明いたします

脳神経内科

平原 智雄



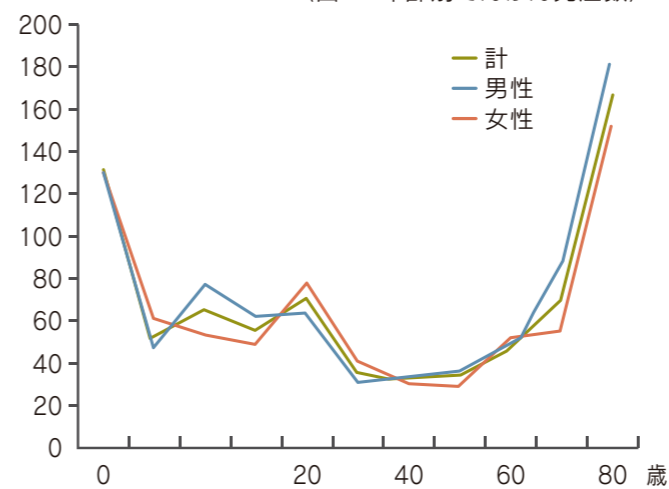
当院に赴任して3年目になります。それまでは大学病院、日赤などで神経難病から脳卒中まで幅広く診療してきました。当院ではリハビリテーションを中心に、頭痛・てんかん・認知症など頻度の高い疾患にも力を入れていきたいと考えています。

（てんかんとは）

脳はたくさん神経細胞から成り立っており、それらが互いに電気信号をやり取りして活動しています。てんかんでは、その神経細胞が過剰に興奮することによって、過剰な電気信号が発生して、その部分の脳機能が正常に働かなくなり、発作が起こります。したがって、発作の症状は電気活動の異常が生じた部位によって異なります。例えば、脳の中で手を動かす命令を出す部位で異常が起こると、手のけいれんが起こります。脳全体に広がれば、意識を失い、手足をバタつかせたり突っ張ったりする発作になります。

このような脳の電気活動の異常によって生じる発作が、繰り返し起こり慢性化する病気をてんかんと呼びます。

〈図1. 年齢別てんかん発症数〉



（てんかんの疫学）

てんかんは、人口1000人当たり0.5人〜1人にみられます。てんかんと聞くと、こどもの病気だと思われるかもしれませんが、確かにてんかんは子供に多く、発作する年齢は3歳以下が最も多いのですが、実は高齢になってからてんかんを発症することも稀ではありません。65歳以上のてんかん患者は1%を超えており、日本の高齢化率は28.4%（2019年9月時点）であることから、現在日本の高齢者てんかん患者は40万人と推定されます。今後高齢化が進むことで、さらに増加すると予想されます。

（てんかんと間違われやすい病気）

ますから、通常1回の発作のみでてんかんと診断されることはありません。しかし高齢者に多い脳に何らかの異常をもっているてんかん（症候性てんかんといいますが）では1回の発作でてんかんと診断することが一般的です。それは脳に異常がない人の場合と比べると1回発作が起きると2回目の発作を起こす確率が非常に高いからです。

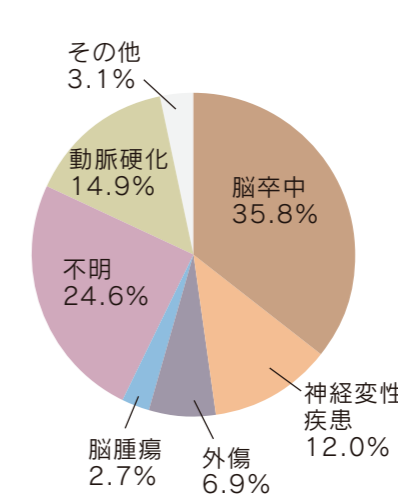
（高齢者てんかんの治療）

高齢者てんかんは、薬剤の効果が小児と比べて高いと言われています。また、少ない量でも効果を示すことが多く、長期に内服しても効果が弱くなりくいと言われています。しかし、高齢者は薬の副作用が出やすいため、飲み始めは少ない量で開始して、様子をみながら増やしていくことが大事です。

通常てんかん薬は、1回目の発作で飲み始めることは少ないのですが、高齢者の場合は画像検査や脳波検査で異常が見つかった場合は、てんかん発作の再発率が高いため、1回目の発作から抗てんかん薬の内服を開始することもあります。

（高齢者てんかんの原因）

〈図2. 高齢者てんかんの病因〉



高齢者のてんかんは、脳卒中や認知症、脳挫傷、脳腫瘍など脳に何らかの障害を持っていることが原因で起こる場合がほとんどですが、2〜3割は原因不明とされています。

（高齢者てんかんの特徴）
 てんかんの症状として、多くの人がイメージする手足をバタつかせたり、突っ張ったりして意識を失う発作を起こすのは、全体の50%程度にとどまります。高齢者で多く見られる発作は、けいれんを起こさず、体の動きがピタッと止まってしまふ、一点をジーンと見つめる、口をもぐもぐさせるなどの発作で、30秒から3分程度続きます。本人はその時の記憶がありません。このような発作は家族からは病気とは思われず、自分でも気が付かないため病院を受診することも少なく、診断がつくのに時間を要します。このような発作を繰り返しているうちに全身けいれんに移行して初めて診断されることが多いのが現状です。

（最後に）

高齢者てんかんに多くみられる発作を疑う症状を挙げておきました。左記のような症状が繰り返し現れることに気が付いたら、ぜひ相談してください。

〈図4. 高齢者てんかんの特徴〉

①	1点をジーンと見つめ、ポーンとしていたときがある。
②	問いかけに答えが返ってこなかったり、まと外れた答えが返ってきたりすることがある。
③	口をもぐもぐしたり、手をもぞもぞしたりして意識がはっきりしないときがある。
④	動作が止まっていることがある。
⑤	「何をしたか覚えていない」というときがある。